

総務常任委員会
 視察研修報告

視察日

平成27年11月26日～27日

視察先

- ・ 福島県相馬市復興支援センター
- ・ 宮城県名取市閑上地区
- ・ 福島県双葉郡広野町役場

視察目的

- ・ 東日本大震災により被災した相馬市と名取市の復興・再建の状況と防災施設等の視察。
- ・ 28年度の設置に向けて検討・協議を行っている防犯カメラの設置について、先進地である広野町の設置状況及び運用等の視察研修。

視察内容

1日目、相馬市被災状況を慰霊碑のある伝承鎮魂記念館において、語りべの方から当時の状況を涙ながらに説明をいただきました。（義父と夫

を目前で亡くした。）被災による死者数は480余名を超え、殉職された若い消防団員10名の写真が寂しく掲示されていました。

しかし、復興再建は進み、漁業の本格操業ができるよう様々な施設が建設され、災害公営住宅や防災備蓄倉庫等の近代施設には驚かせられました。



東日本大震災の被害の記録

次の日は、名取市閑上地区の復興状況を視察しました。4年前に来た時には船が道路際に放置され、車や壊れた家



閑上地区の種の慰霊碑

屋等が散在しておりましたが、現在それらは整理されていたものの、復興には相当の時間を要すると感じられました。

午後には、放射能の数値を気にかけながら移動し、広野町の見守りカメラ整備事業の研修を町庁舎とカメラ設置場所において、菅野副町長・環境防災課長の出席のもと説明を受けました。

広野町は、震災による家屋、公共施設の被害も甚大でしたが、福島原発から10キロ圏内

での避難指示が発令され、一年後には避難指示が解除になったものの、帰還率は30%台と低く、町内に暮らす復興従事者は3,000人を超え、地元民とのトラブルや空き巣等が増加し、児童・生徒の通学見守りを重点とした対策として25台のカメラによる監視体制の強化を図りました。

美浦村においても、稲敷警察署と連携を密に、犯罪抑止に向けて防犯カメラの設置を積極的に推進するよう考えていきます。



広野町役場にて